

ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社
(以下「ディズニー」という)
第十二回ディズニー・チャンネル放送番組審議会
議事録

開催日時 : 2009年04月23日(木) 17:30~19:00
開催場所 : 東京都港区麻布台 2-4-5
ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社
ウォルト・ディズニー・テレビジョン・インターナ
ショナル ジャパン
スタジオ・ディズニー会議室

在任審議委員数 : 7
出席審議委員数 : 7
出席審議委員氏名 : 加藤 諦三
木下 美子
中川 真弥
前田 耕作
柳生 純麿
湯川 れい子
山田 顕喜

その他、ディズニ : エディー・カックス
ーからの出席者 (バイスプレジデント&ゼネラルマネージャー/
編成部)
アイリーン・ハンベルガー
(プログラミング・シニアマネージャー/編成部)
待鳥 雅之
(コンプライアンス・スーパーバイザー/編成部)

- 議案**
- 1) ディズニー・チャンネル及びディズニーXDの番組編成・改編について
 - 2) ディズニー・チャンネル及びディズニーXD放送番組について
(下記の番組については、本会議に先立ち、各審議委員にDVDを送付した。)
 - ・「あそぼう！イマジネーション・ムーバーズ」
 - ・「スイート・ライフ オン・クルーズ」
 - ・「かいけつゾロリ」
 - ・「アーロン・ストーン」

審議の概要

1) ディズニー・チャンネル及びディズニーXD番組編成について

ディズニー・チャンネル及びディズニーXDの番組編成・改編について説明がされ、下記のとおり意見交換が行われた。

(以下●印 審議委員からの意見及び質問、○印 ディズニーからの出席者の回答)

- プレイハウス・ディズニーにおいては、朝 11:00 より「南の島の小さな飛行機バーディー」の放送を開始した。国内の番組をプレイハウス・ディズニーの編成に組み込むのは新しい試みではあるが、高視聴率。
- 「東京ディズニーリゾート・トレジャーハント」は好評につき、二枠を増やした（月曜日 19:00/22:30 放送）。
- 前回ご紹介した「スティッチ！」のシリーズが大変好調。現在、土日にも放送中で、視聴率も非常に良い。第2シーズンの制作も決定しており、一般公募のイベントや、5月には特別番組の収録も予定している。
- 2月より国内制作の「ネットゴーストPIPOPA」をトゥーン・ディズニーで放送開始。
- 「リセス〜ぼくらの休み時間〜」はトゥーン・ディズニーへ移行したところ、大変好調で視聴率が良い。
- なぜ視聴率がよいのか興味がある。
- 学校での休憩時間が舞台なので、身近に感じ、受け入れられたのではないだろうか。また、ディズニー・チャンネルではどちらかという女の子の視聴者の多いのに対し、トゥーン・ディズニーは男の子がターゲット視聴者となっていることも影響しているのではないかと考えられる。ヨーロッパでもこの番組は好調。
- 視聴者の反応や番組評価の判断材料は、視聴率だけなのか？
- 視聴者の方々から頂いているコメントなども考慮している。
- 今年の8月1日に、トゥーン・ディズニーがリニューアルされ、ディズニーXDとして生まれ変わる。対象となる視聴者層は6~14歳の男女で、コアターゲットは8~12歳の男子。ディズニーXDでは放送番組を通して、子どもたちが興味あることにチャレンジしたり調書や特技を発揮したりすることの楽しさを提供したい。チャンネルの性格としては、「クール」「止まらない」「楽しい」「自信に満ちている」「チャンピオン」「メンター」などがある。海外のSFドラマ、スポーツ、アニメーションなど様々なジャンルのコンテンツを放送する予定でいる。
- ディズニーXDの性格のひとつである、「止まらない」の意味は？
- あきらめない、壁にぶつかってもそれを乗り越えるために努力するという意味。

- XDの意味は？
- 英語では、例えば Extreme sports などに象徴されるようなスリリングでドキドキするような印象を与える。XDのロゴは、子どもたちの現実的な世界と、ディズニーXDという希望と刺激に満ちた世界をつないでくれる窓を表している。

2) ディズニー・チャンネル及びディズニーXD放送番組について

ディズニー・チャンネル及びディズニーXD放送番組について各委員より意見交換が行われた。

(以下●印 審議委員からの意見及び質問、○印 ディズニーからの出席者の回答)

『あそぼう！イマジネーション・ムーバーズ』について：

- 2～7歳の男の子が対象。それぞれのキャラクターが全く異なるスミティ、ダイブ、スコット、リッチの4人がチームワークを発揮してお互いに協力して依頼人の相談や問題を解決していくという番組。
- 日本では、このように問題解決の方法を試行錯誤するという種類の番組が少ないので新鮮に感じた。
- 例えば米国などでは問題解決の能力を等調査などが数多くあるが、日本では、このような能力を問う習慣があまりない。それゆえにこの番組がとてもユニークなものと感じた。
- 子どもには、ややテンポが速いかなとも思われた。
- テンポも良く、子どもたちはいつの間にか引き込まれていき、番組が終わった後に、親子の会話も生まれやすいのではないかと感じた。
- 最近、洋楽が売れなくなってきているが、小さい頃からこのような番組に親しんでいけば、大人になっても洋楽を聞くようになるのではないかとキャラクターに親しみがわかれば定着して、毎回見るようになると思う。

『スイート・ライフ オン・クルーズ』について：

- 「スイート・ライフ」の舞台が、新たにロンドンの父が持つ豪華客船のティプトン号に移り、登場人物たちはこの船の中にあるセブン・シー高校に入学する。今回から新たにベイリーという田舎の農場からやってきた女の子が新たに仲間に加わる。
- ディズニー・チャンネルでの視聴率は中々良い。
- 通常ではありえない場面の設定だが、楽しめる番組で、定着しそうだと思

う。

- 日本では正統派のコメディが少ない。この番組が定着すれば、固定ファンも付くのでは。

『かいけつゾロリ』について：

- 指名手配中のキツネの主人公ゾロリが修行の旅に出る。彼が行く先々で人助けをしながら活躍するというストーリー。2004年にアニメーションとして制作・放送が開始されて、計3シーズン分(3年間)放送された作品。
- キャラクターの性格やストーリーの設定が、寅さん風な雰囲気がある。
- 一度既に世に出たアニメーションなので、既存のファンにプラスして新規のファンも増えるのではないか。
- 古くは感じず、このまま新しい世代にも受け入れられそう

『アーロン・ストーン』等について：

- ディズニーXD用に制作された実写ドラマ。
主人公の高校生チャーリーは、「Hero Rising」というオンラインゲームの伝説的なプレイヤー。実はこのオンラインゲームは「オメガ・ディファイアンス」という悪の7人の組織を倒すために優れた若者を探し出すためのゲームで、チャーリーはこのゲームのクリエイターにその腕を見込まれて、この世界を守ってほしいと頼まれる。
- ディズニーXDのキャッチフレーズは、「自分をこえろ」で、この作品はそれにマッチしている。また、XDのロゴのように、ネットと現実が交差した世界が舞台になっている。
- 暴力的な印象はなかった。パフォーマンスとしてはどうか？
- 男の子を対象に調査したところ、大変好評だった。また、以外にも主人公をスカウトしようとするスタンプが人気だった。毎回1話完結で、米国ではすでに第2シーズンの制作も決定している。

以上をもって本会議は、議案の審議を終了したので19:00に閉会した。

上記の議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、本議事録を作成する。